

## コロナ禍でどのように つどいの場を再開したらいいの？

長期化するコロナ対応で、地域での話合いや活動ができない日が、もう1年以上も続いています。

感染者は出したくない、でも、外出を控えている方々の生活や健康も心配……。つどいの場を再開するには、どうしたらよいか一緒に考えてみませんか。

### ●講師プロフィール●

ご近所福祉クリエイター 酒井保(さかい・たもつ)

1961年 広島生まれ。知的障がい者施設職員、社会福祉協議会福祉活動専門員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年8月に『ご近所福祉クリエイション』を創設(主宰)。講演・執筆活動を行っている。イラストレーターとしても活動中。『つながりを切らない情報・交流ネットワーク』<https://www.t-net.online/>に「週刊マンガつながる通信」を掲載。

### ◆主な著書◆

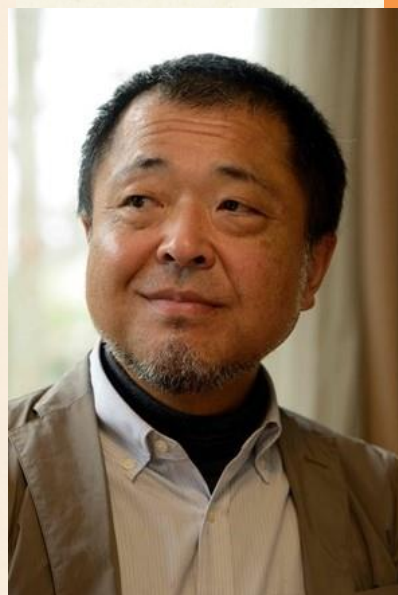
「見守り活動」から「見守られ活動」へ [CLC 発行]

元気を生み出す!ご当地サロン/新しい総合事業大見本市 [CLC 発行]

生活支援コーディネーターと協議体(共同執筆;マンガ・イラスト) [CLC 発行]

コロナ下で考える気かけ合う地域づくり(共同執筆) [CLC 発行]

番外:週刊朝日に連載のマンガ「ヘルプマン!!」[取材記](くさか里樹/朝日新聞出版)に酒井保本人として登場。



先着  
40名

下表に記入のうえ、電話・FAX・窓口・メールでお申込みください。  
(1団体2名まで)

氏名	電話	所属

TEL:(0561)73-4885

FAX:(0561)73-4954

メール:info@nisshin-shakyo.or.jp

日進市社会福祉協議会 地域福祉係(富岡・松本)

7/17 土

13:30 - 14:30

中央福祉センター  
多機能室